

株式会社ダイフク 第94回 定時株主総会

2010年6月25日

DAIFUKU
Material Handling and Beyond

事業のご報告



中国で建設が進む液晶パネル工場向け保管システム

1-1. 連結子会社

国内子会社 13社

海外子会社 32社 北米9社 欧州3社 アジア20社

計 45社 (2010年3月31日時点)



1-2. 94期 連結実績

受注高

売上高

37.2%減

36.3%減



93期

94期

93期

94期

1-3. 94期 連結実績

DAIFUKU

営業利益

99.5%減

150.1
億円

0.8
億円

93期

94期

4

1-4. 94期 連結実績

DAIFUKU

経常利益

150.1億円減

148.8
億円

△1.3
億円

93期

94期

5

1-5. 94期 連結実績

DAIFUKU

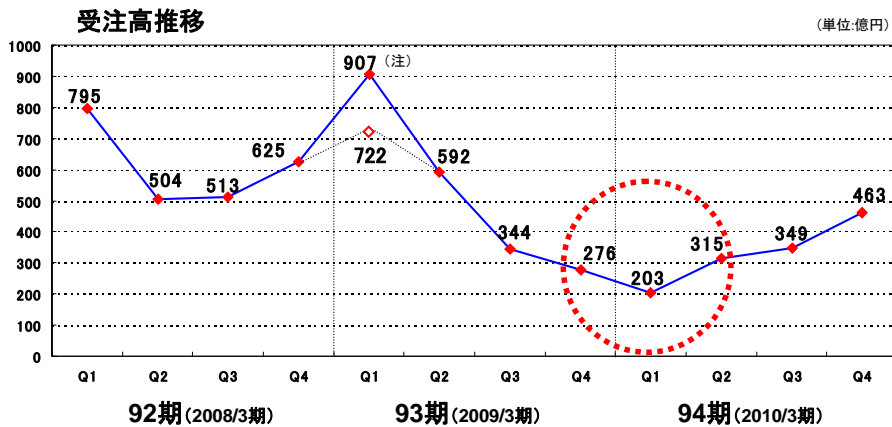
当期純利益

87.0%減

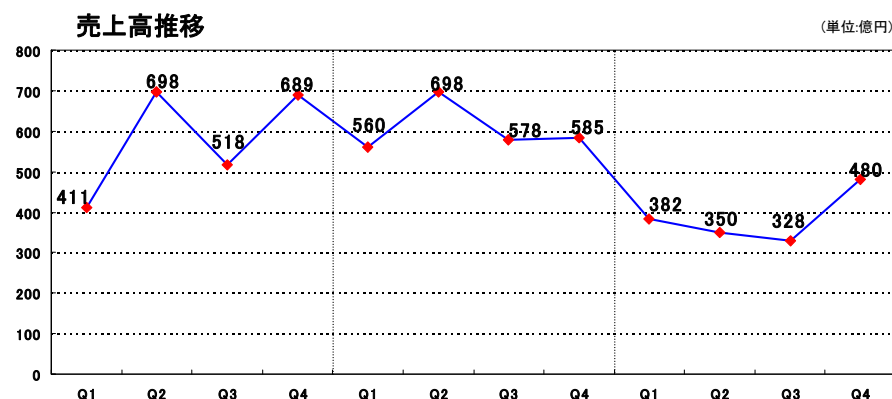


1-6. 94期 連結実績

DAIFUKU



(注) 2009/3期Q1:ウェブ社の2007/12期受注残185億円を含む



■一般消費者に近い事業を集約(4月)

洗車機の販売会社、ボウリング製品の販売会社などを統合し、(株)ダイフクプラスモアとして再スタート



■サービス資産を増やす(5月)

コマツユーティリティ(株)グループから、物流システムのアフターサービス事業を譲り受け。約1,100台のスタッカークレーンが、メンテナンスなどサービス事業の対象(資産)として加わる

8

■タイでピントン新工場が完成(8月)

従来のチョンブリ工場が手狭になったため建設を進めていた新工場が完成。AFA事業を中心としたアジア地域の中核生産拠点として、グローバル生産体制を強化する



9

■大福(中国)有限公司 発足(今年4月)

中国における現地法人を再編し、新たなスタート。**15地区**に展開する**販売・製造・サービス体制**を強化し、一層の**ビジネス拡大**を図る



■太陽光発電設備を設置(3月)

総合展示場「日に新た館」(滋賀)の屋上に、太陽光発電システムを導入。同館**年間使用量の約30%(約27万kwh)**を賄うとともに、**年間110トンのCO₂を削減**する



右:ロビーに新しくモニタを設置し、環境への取り組みを紹介

左:稼働した太陽光発電システム

■ 新基幹業務システムを本格稼働(今年4月)

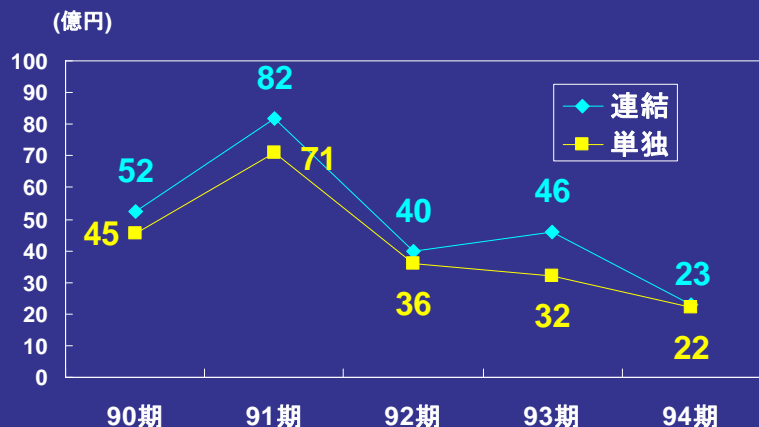
40年余り使用してきた情報システムを、**統合業務パッケージシステム(ERP)**に**全面更新**。内部統制システムや国際会計基準に**柔軟に対応**



2. 94期 設備投資の状況

物流システム事業	16.1億円
電子機器事業	0.6億円
その他事業	0.5億円
管理部門他	5.4億円
	22.8億円

滋賀事業所の生産設備の維持更新、新生産管理システムの追加開発、タイ現法の新工場建設ほか、基幹業務システム、太陽光発電の設置などを行い、**総額約23億円**を投資しました。これらの資金は、**自己資金**でまかさないました。

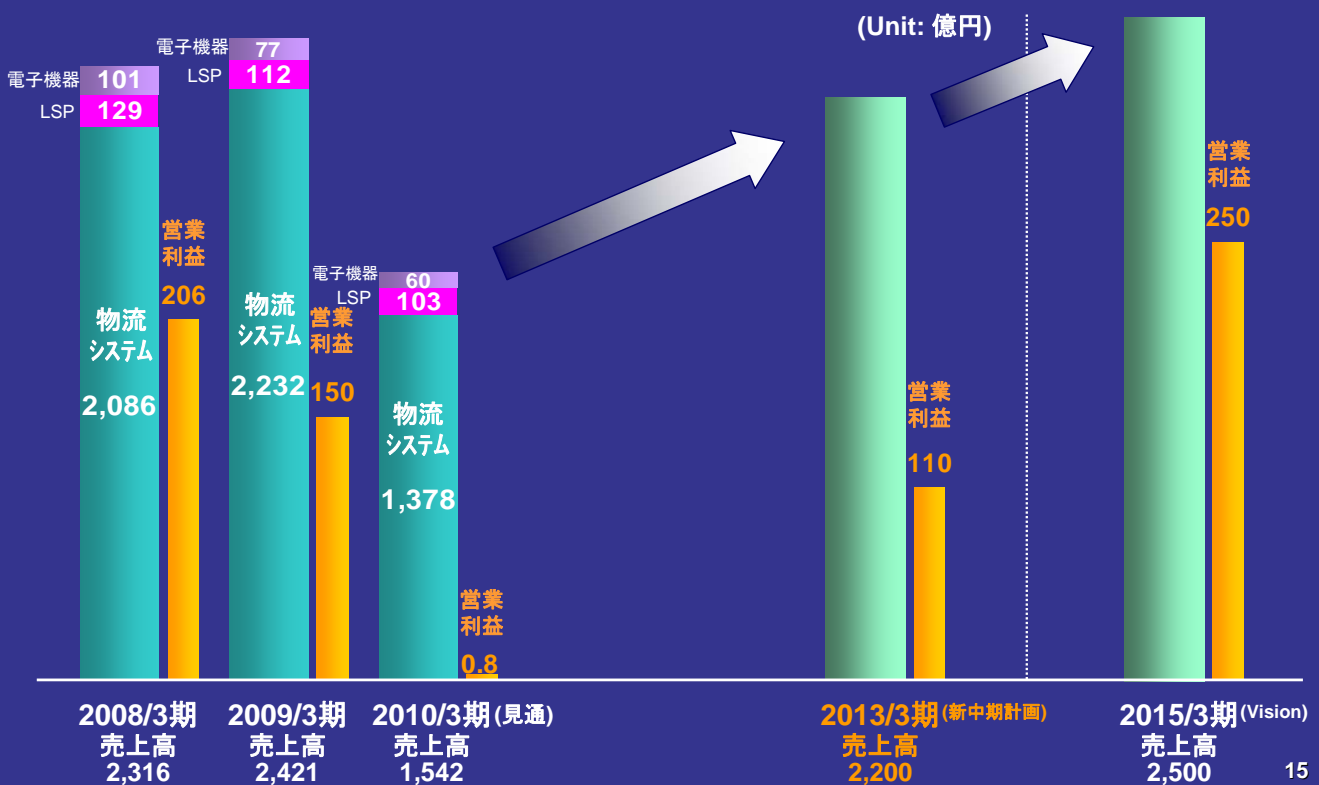


新中期経営計画(2010年4月~2013年3月)

「Material Handling and Beyond」

“将来にわたって当社グループが
持続的に成長し続けるための
事業基盤を確立する3年間”
と位置づけました。

新中期 経営目標 最終年度2013年3月期



平成23年3月期基本方針

コーポレートガバナンスの
一層の充実を図る

とともに、

“量の確保と質の向上”

“新規顧客、新市場、新規事業の開拓”
に注力して業績向上を図ります

～コーポレートガバナンスの充実～

■「独立役員」2名確保へ

経営の意思決定をさらに一般株主の保護に配慮した
公平で公正なものに

■組織改編し、各種体制を強化

全社リスクマネジメント機能や、国内外の会計基準の
統一に対応

■「企業行動規範」を再配布

近年の法令および裁判例を踏まえ改定。4月、冊子を
全社員に配布

～環境問題への対応～

■「環境経営推進委員会」を新設

環境経営戦略を立案・推進。グループ全体にわたる省エネルギーなどに関わる方針の決定や、関係法令へ対応

～安全面の強化～

■中央環境安全衛生委員会

CEO直轄の委員会に変更、労働災害の撲滅に取り組む

～量の確保と質の向上～

豊富な経験と実績に基づく品質や提案力を前面に押し出し、シェアアップを図ります

■投資が本格化する中国

再編・強化した現法組織のもと、液晶パネルメーカーを中心とした案件へ着実に対応

■サービス事業をさらに強化

営業・サービス部門が一体となって、リニューアル案件に注力。引き続き、プロジェクト管理の徹底にも取り組む

～新規顧客、新市場、新規事業～

■太陽電池、リチウムイオン電池、農業向けなど
新しい分野でもトップシェアを目指す

■半導体・液晶向け

周辺装置を開発し、新しい領域へ



4-1. 95期 連結業績予想

	連結
受注高	1,750 億円
売上高	1,700 億円
営業利益	5 億円
経常利益	1 億円
当期純利益	△4 億円

4-2. 剰余金の配当方針

DAIFUKU

株主様への利益還元を最重要課題と位置づけ、連結純利益をベースとした業績連動による配当を実施

94期(2010/3) 期末配当を10円に。中間配当10円と合わせ年間配当は20円

95期(2011/3) 現時点での業績見通しおよび経営環境を総合的に勘案し、遺憾ながら年間配当15円(内 中間配当5円)を予定しております



22

5-1. 連結貸借対照表～資産の部

DAIFUKU

計:1,947億円

計:1,654億円

流動資産
1,421億円

流動資産
1,092億円

固定資産
525億円

固定資産
561億円

93期

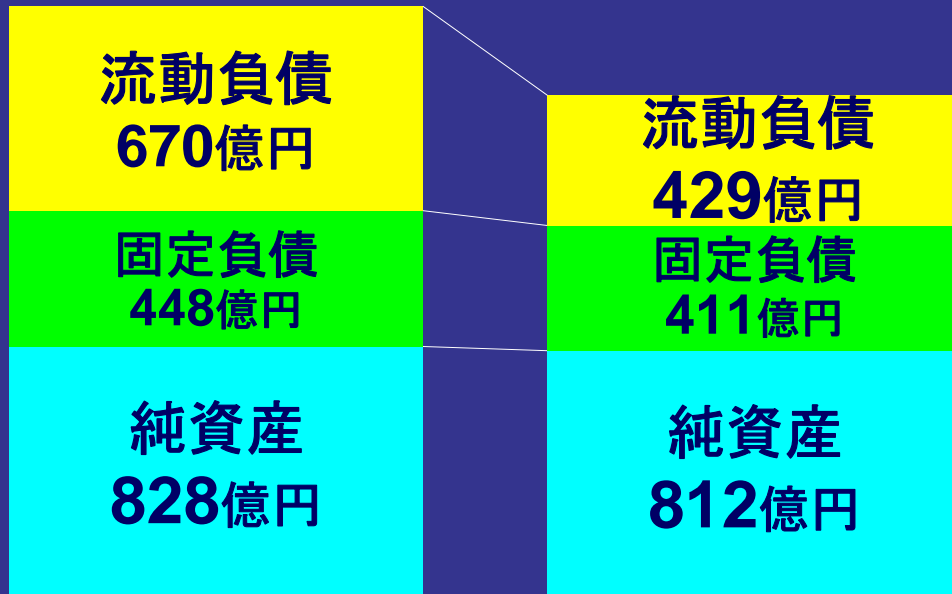
94期

23

5-2. 連結貸借対照表～負債・純資産の部 DAIFUKU

計：1,947億円

計：1,654億円



93期

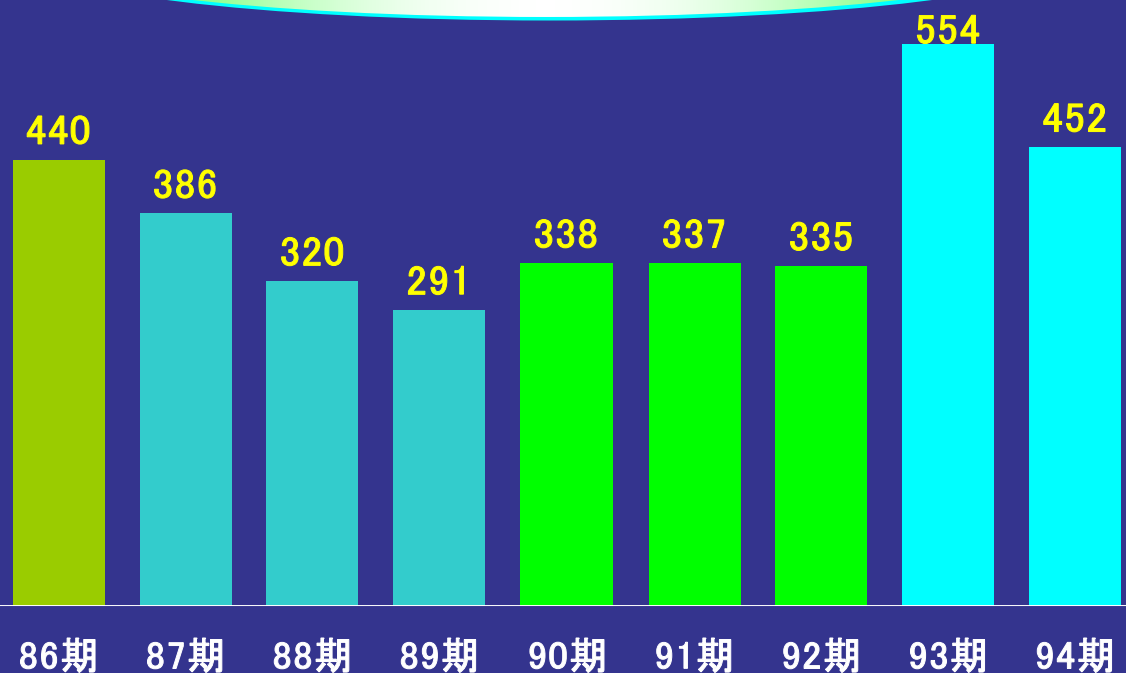
94期

24

5-3. 連結有利子負債残高の推移 DAIFUKU

(単位：億円)

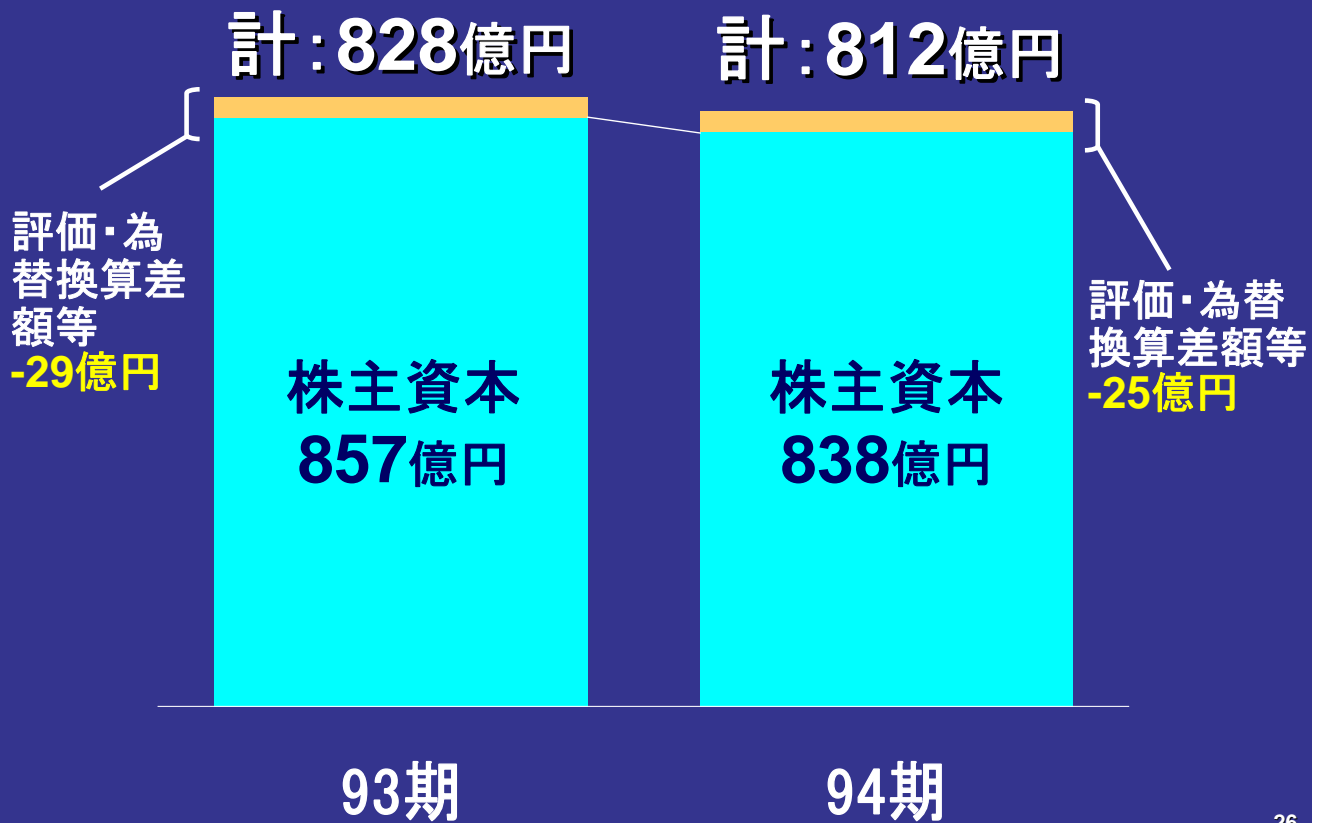
94期：101億円減少、純資産比率は0.56に



25

5-4. 連結純資産

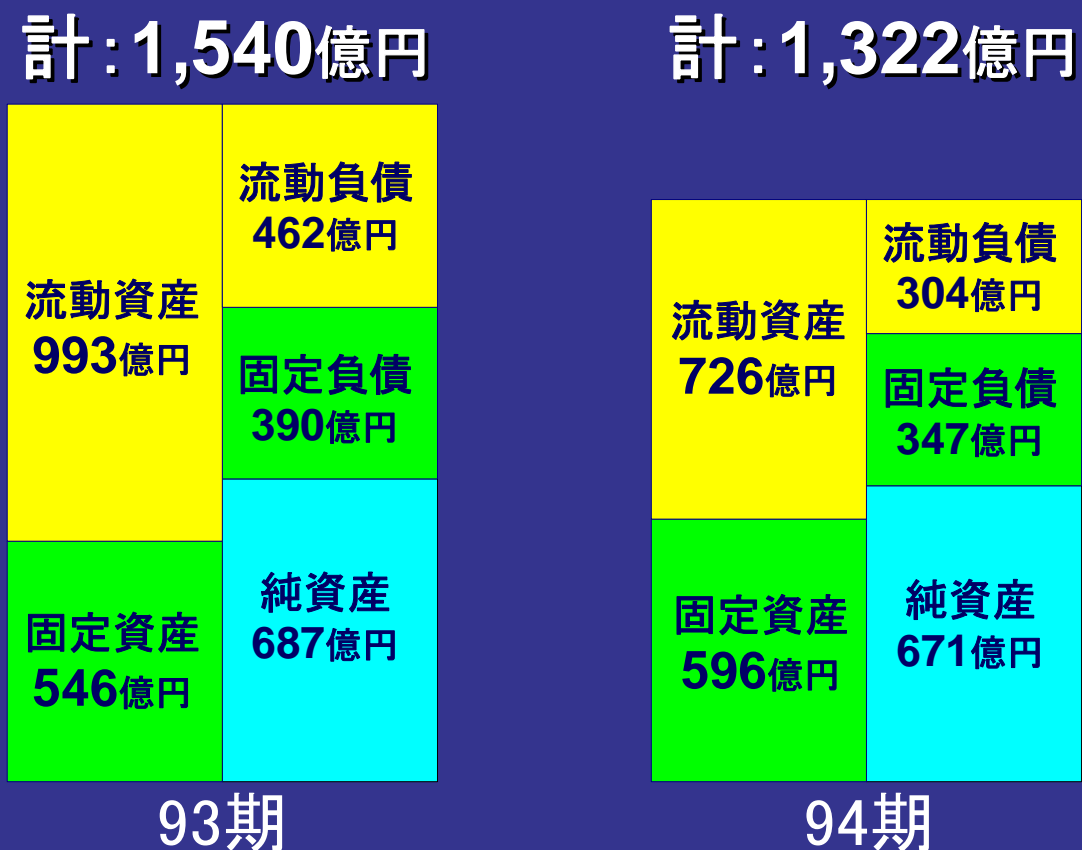
DAIFUKU



26

6-1. 単体 貸借対照表

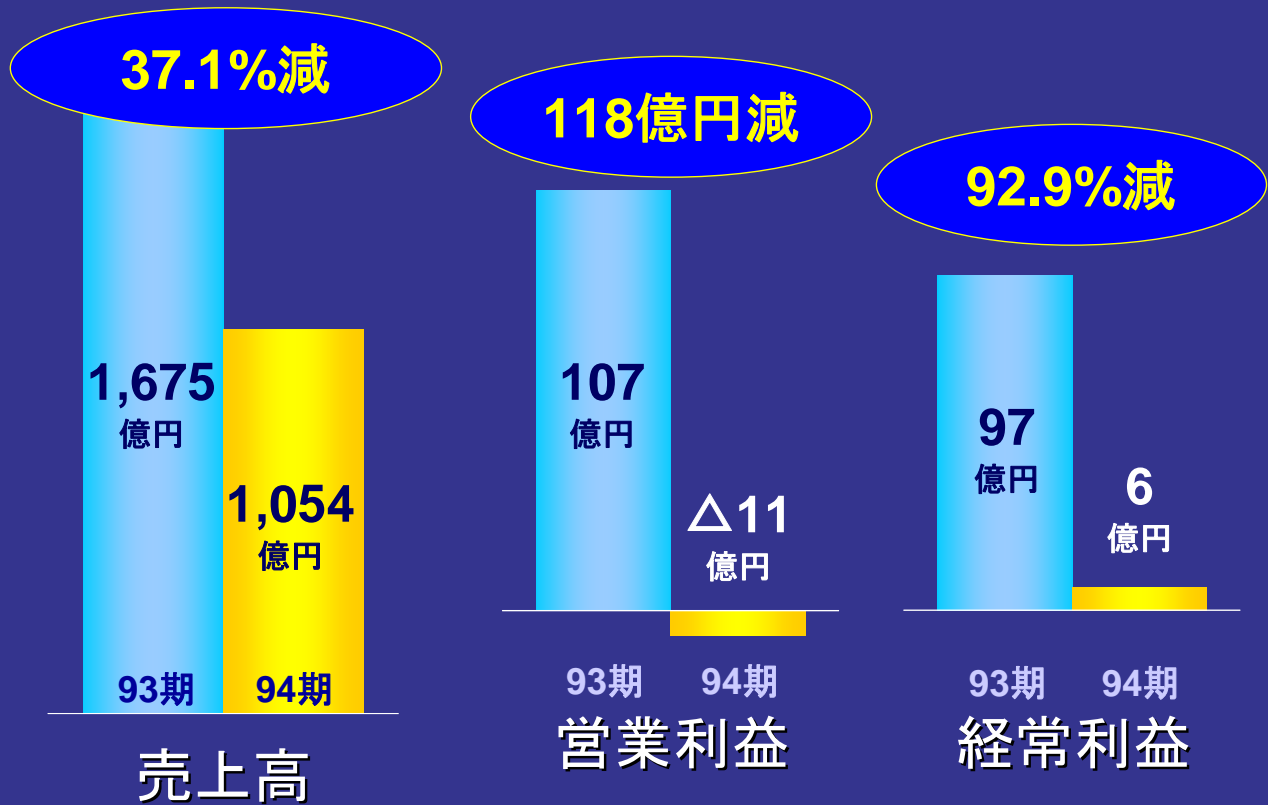
DAIFUKU



27

6-2. 単体 94期実績

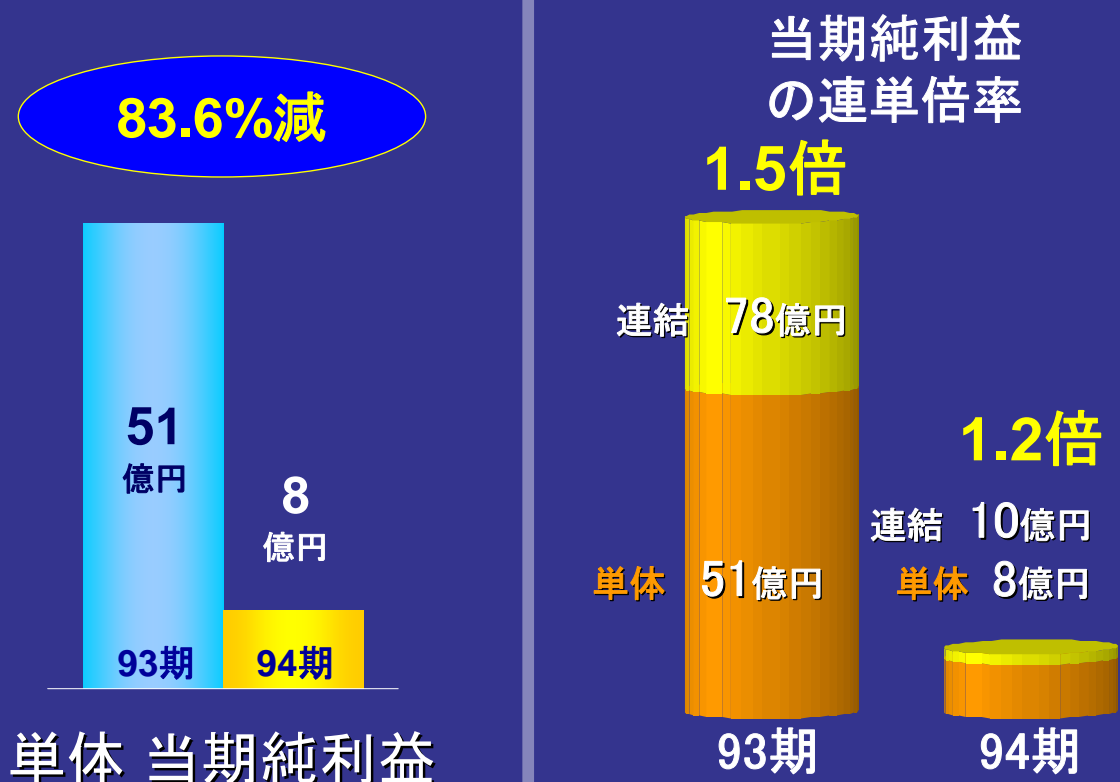
DAIFUKU



28

6-3. 当期純利益の連単倍率

DAIFUKU



29

第1号議案

取締役17名選任の件

第1号議案

重任

竹内 克己
 平井 豊
 柿沼 清毅
 井上 正義
 田中 章夫
 森屋 進
 藤木 勝敏

北條 正樹
 小林 史男
 谷口 孝宏
 猪原 幹夫
 平本 孝
 武田 泰元

新任

田原 直樹
 岩本 英規

中島 祥行
 佐藤 誠治

第2号議案

監査役2名選任の件

第2号議案

重任

出原 節夫

新任

鳥井 弘之

科学技術振興機構 J S T 事業主幹